

★★渡辺会長テーマ「思いをつなぐーBack to Basic」★★



ROTARY CLUB of TOKYO-MINATO

平成 30 年 7 月 17 日 (第 1440 回)

2018-2019 年度

VOL. 32 No. 3 通算 1356 号



[聖坂] この坂は三田 3 丁目から三田臺町済海寺の方へ上る坂、かつては長さ 百間幅二間五尺ほどの細長い坂であったが、今は大きな道になった。

“インスピレーションになろう”
BE THE INSPIRATION

RI 会長 バリー・ラシン

2018-2019 年度理事・役員 (敬称略)	
会 長	渡辺 俊之
副会長	武井 是雄
会長エレクト	石曾根 良
直前会長	相馬 耕三
幹 事	鈴木 一弘
会計監事	林 隆春
会 計	高取 良雄
理 事	竹内 正浩(クラブ運営担当)
〃	桧山 幹夫(会員組織担当)
〃	山口 靖之(親睦担当)
〃	吉田 眞紀子 (奉仕プロジェクト担当)
〃	三木 泰雄(国際担当)

お知らせ

2018-2019 年度みなと区民まつりは 10 月 6 日(土)～7 日(日)に今年も増上寺境内を中心に行なわれますが、今年度もブース出展はございません。

★義援金箱報告★

7 月 10 日 0 円 累計 28,524 円



東京みなとロータリークラブ
TOKYO MINATO ROTARY CLUB

事務局: ☎108-0014 東京都港区芝 4-12-4 名倉堂ビル

Office: Nagurado Bldg. 4-12-4 Shiba Minato-ku Tokyo 108-0014

Tel: 03-5232-3514 Fax: 03-5232-3515

ロータリーポリオ撲滅チャリティー ピアノリサイタルのご案内

日 時:2018 年 11 月 7 日(水)
17:30 開場 18:00 開演

会 場:紀尾井ホール
千代田区紀尾井町 6-5
電話 03-5276-4500

チャリティーチケット:1 枚 5,000 円
(内、3,000 円がポリオプラス基金への寄付)

概 要: 實川風ピアノリサイタル
2015 年 10 月パリで行われたロン・ティボー・クレスパン国際コンクールにて 1 位なしの第 3 位を受賞、併せて最優秀「リサイタル賞」及び「新曲賞」を受賞。東京藝術大学音楽学部 首席卒業、及び同大学 院修士課程修了。

主 催:東京広尾ロータリークラブ
協 賛:第 2750 地区ロータリー財団委員会
ポリオプラス委員会

※チケット購入希望の方は 7 月 4 日付けメールにてご案内の申込用紙にて 8 月 7 日までにチケット代金を添えてお申し込み下さい。

東京みなとロータリークラブ

会長 渡辺 俊之 幹事 鈴木 一弘

副会長 武井 是雄

例会日 毎週火曜日 12 時 30 分

例会場 東京プリンスホテル

創 立 昭和 62 年 6 月 23 日

Meeting Every TUESDAY 12:30

Tokyo PRINCE Hotel

Established 23rd Jun 1987

☆本日の例会

ロータリーソング 手に手つないで
牧場の朝
「第2回クラブ協議会」(クラブフォーラム)
◎本日の会合
・第1回地区会長・幹事会 15:00
「ハイアットリージェンシー」
・2017-18年度親睦委員会打ち上げ会
18:00 「倶楽部エル 7階」

♪牧場の朝♪

一、ただ一面に立ち込めた
牧場の朝の霧の海
ポプラ並木のうっすらと
黒い底から 勇ましく
鐘が鳴る鳴る かんかんと

第1439回例会（平成30年7月10日レポート）

点 鐘 : 渡辺 俊之会長
ロータリーソング: 我等の生業・夏は来ぬ
ソングリーダー : 小澤哲郎君
ビジターとゲスト 1名
出席報告 出席数 30名 出席率 71.43%
会員数 44名 計算出席数 43名
出席規定免除者 1名(出席0名)
前々回修正出席率 81.40%
6月平均出席率 83.05%

会長報告

※7月ご夫人誕生日おめでとう。(3名)
※2019年度青少年交換派遣学生募集に対し、
当クラブへの応募はありませんでした。

幹事報告

※みなと区民まつり(10/6-8日開催)協賛金3万円・港区社会福祉協議会法人会費30年度分及び日赤会員30年度分をニコニコ基金より払込みましたのでご報告致します。
※2018-19年度「活動方針と計画書」を配布しました。
※17-18年度親睦委員会打上げ会案内を7/4付メールにて配信しました。出欠は本日中にご提出ください。

※1枚の用紙で「クラブ協議会(9/25)・ガバナー公式訪問(10/31(水))」の開催案内を配布しましたので、7月31日(火)までに出欠をご提出下さい。尚、今年度は当クラブがホストですが、地区側の都合により芝RC例会日の水曜日開催となります。
当クラブは10月30日(火)例会を振り替えていますのでご注意ください。
※納涼夜間例会(8/28)の開催案内を配布しました。出欠締め切りは7/24(火)厳守をお願いします。本件について山口親睦委員長よりアナウンス致します。

※東京広尾RC主催の「ポリオ撲滅ピアノリサイタル(11/7)」開催案内を7/4付けメールにてご案内しました。チケット代5,000円のうち3,000円が個人名でのポリオプラス寄付となります。チケット購入希望の方は案内文書の申込書にてチケット代を添えて8/7(火)迄に事務局宛お申し込み下さい。
※第83回ゴルフ会(9/7-9/8)1泊2ラウンドの開催案内を7/4付け同好会メンバーの皆様へメールにて配信致しました。本日が第一次締切となっています。

ニコニコBOX

浅川副SAA
石曾根→浅川さんのニコニコ顔に絆されて。
相馬→本日は真夏のような晴天ですが、豪雨で被害を受けられた9府県の皆さまのご回復を祈念いたします。
弦本→昨日フランスから帰国しました。ニュースを見ておらず、西日本の豪雨災害で被災された犠牲者のご冥福をお祈りします。
林 →いよいよ真夏日。これから当分熱中症に気をつけましょう。西日本の水害被害大変ですね。何か考えたいものです。18-19年度新体制頑張ってください!!
福田→12/2(日)港区民ハーフマラソンにエントリーすることになりました。制限時間は2時間30分。初体験ですがなんとか頑張ってます。

吉田眞→この度の西日本豪雨で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々にご遺族に深くお悔やみ申し上げます。

浅川→今回の豪雨被害、かつて訪ねたことのある街の姿も一変し心が痛みます。

累計 37,000円

（ポリオ撲滅ニュースレター掲載記事）
《ポリオ撲滅活動の熱心な支援者、マリ
ー・イレーネ・リッチモンド・アフアさん》

マリー・イレーネ・リッチモンド・アフアさんをご存知ですか？彼女はアビジャン・ビエトリー・ロータリークラブ（コートジボワール）に所属し、国際コミュニケーションのコンサルタントの仕事をしています。ロータリーのシニアリーダー職も務めたことのあるアフアさんは、これまで数えきれないほどの予防接種活動を主導し、コートジボワールでの国連の取り組みにおいてアウトリーチアドバイザーを務めた経験もあります。今回はそのアフアさんにお話を伺いました。

ポリオ撲滅のボランティア活動を始めたきっかけを教えてください。
コートジボワールでは1987年、保健省による全国的な取り組みの一環として、ロータリーがポリオなど5つの小児疾患に対する予防接種を始めました。現地のロータリアンが、資金やコールドチェーン設備の提供、ワクチンの輸送に必要な燃料の購入、スタッフの研修、専門医の確保などを行い、コートジボワール政府を積極的に支援しました。当時、アビジャン・ローターアクトクラブの会員だった私は、この活動に参加できることが嬉しく、やる気に満ちあふれていたことを覚えています。

ポリオ撲滅という目標に取り組もうと思ったのはなぜですか？
私は自分の国で、歩くことができず四つん這いになって地面を這っている子どもたちを見てきました。その光景を目にした私は、「アフリカの未来であるはずの子どもたちが歩くことができれば、この子たちはどうやって生きていくのか？」という問いが頭の中で駆け巡りました。一刻も早く行動を起こさねばという気持ちで一杯でしたが、当時の私には何から始めてよいのか見当もつきませんでした。しかし、子どもたちの生活を変えることが大切であると考えていた私にとって、当時ロータリーがコートジボワールで行っていた活動はとても魅力的でした。謙虚な姿勢で人の役に立つということは、かけがえのない道徳的な達成感を与えてくれると思います。

アフアさんはアフリカにおけるロータリーのポリオ撲滅活動では初となる女性リーダーの一人ですが、周りの女性たちと一緒に活動してみたいかがですか？
これまでずっと、女性は単なる受益者としてしか見なされていませんでした。しかし、現在では女性の役割は目には見えませんが、次第に認識されてきています。まだ十分に力を発揮できているとは言えませんが、女性は非

常に重要な役割を果たしています。育児に時間の多くを費やし、子どもを予防接種に連れていくのも女性です。しかし、予防接種と聞くとボランティアスタッフから身を隠したり逃げてしまうケースもあります。だからこそ、全国予防接種日を機に、女性の社会への関与を促していく必要があるのです。私たちは女性団体や、女性の健康に取り組んでいるNGO、助産師協会、そして街で食料を販売している女性たちとも連携しています。彼女たちは皆、ロータリーとパートナー組織のおかげで子どもたちに予防接種を受けさせることができ、健やかな成長を手に入れることができると知っているのです。

「ポリオ撲滅には費用がかかりすぎる」とか「撲滅は不可能だ」という意見について、どのようにお考えですか？
私たちはこの活動に信念を持って取り組んでいます。ポリオとの闘いにおいて、私たちは言わばボランティアという軍隊であり、ポリオワクチンは武器なのです。この闘いに勝利するために必要なものとは、有効なワクチン、実績のある戸別訪問戦略、適切なモニタリング、人的資源と資金であり、私たちはこのすべてを持ちあわせています。子どもたちの健康を考えるなら、高すぎることはまったくありません。1980年に撲滅した天然痘に続き、ポリオは地球上からなくなる2番目の疾病になると強く信じています。私たちアフリカ人は、ほかに急を要する課題があることは誰よりも分かっています。しかし、私たちはポリオを完全に終わらせると決意しました。もし今後3年以内にこの目標を達成できなければ、ポリオが再び猛威を振るう危険性があるため、撲滅は「選択肢」ではなく「義務」なのです。この目標の達成は目前に迫っています。世界全体でのポリオの症例数は99.9%減少しています。保護者や市民に対して説明する時は、これをスポーツに例えると良いかも知れません。まさにラストスパートの状態であり、レースの中でも絶対に気を抜いてはいけない勝負どころなのです。

今後の課題は何ですか？
資金不足に加え、僻地に暮らす子どもたちに支援が行き届かないこと、政治的意思の欠如、内戦などが挙げられます。このため、これまでの取り組みを見直すことで体制を整え、このような課題を解決していくことが急務です。野生型ポリオウイルスの常在国では、住んでいる場所や予防接種歴にかかわらず、すべての子どもにワクチンが行き届くようにし、予防接種を受けさせることが最優先となります。ポリオのない世界が私たちの長年の夢でした。そして私たちは今、その夢をまさにつかもうとしているのです。